



2015年度理事者から～任期終盤を迎えて～

2015年度の理事者の任期もあと1ヶ月を残すところとなりました。今年度は、伊藤会長が就任時に掲げた8つの課題への取り組み、不祥事対策、安保法案及び憲法問題への対応、戦後70年企画などがありました。その他、錦糸町法律相談センター移転と相談事業の改革、会員向け・市民向けスマートフォンアプリの制作、「ぼったくり対策」、「ヘイトスピーチ規制」、様々なテーマでの数多くのシンポジウムやセミナーなどにも積極的に取り組みました。伊藤会長が本稿で述べられているとおり、3月中に日弁連と当会の臨時総会が開催されるなど、任期終了間際まで気が抜けないと思います。会長・副会長の方々に、就任してからの日々を振り返っていただきました。

2015(平成27)年度の終盤を迎えて

会長 伊藤 茂昭 (32期)



LIBRA3月号を会員の皆様にお届けするに当たり、これまでの9カ月を反省しまだまだやり残していることに全力で取り組む期間であると考え、そのような立場からの会務報告となります。

12月まで、就任時に掲げた8つの課題に加え新たな課題にも取り組みました。力を注いだ企画として戦後70年企画、安保法案に対する取り組みがあります。錦糸町法律相談センターの移転と相談事業の改革もようやく形が見えてきた段階です。職務適正化のための不祥事対策を進めてきましたが、今後一層の組織的継続が必要です。委員会中心で行われてきた「ぼったくり対策」や「ヘイトスピーチ規制」は成果を上げました。また、年度終盤に至って多摩支部における町田の法律相談センタ

ーの問題の方向性を確定し、さらには「会務活動等に関する会規」の、会務活動の範囲の拡大の方向での見直しの道筋をつけて次年度に引き継ぐ必要があると考えています。

このように課題山積の中、今年度は3月10日に東京弁護士会の臨時総会、11日に日弁連の臨時総会が開催されます。東弁の臨時総会は、一般会費と新入会員の会館特別会費の減額、研修所終了者の特別措置等の会費問題と、職務適正化の一環としての非弁提携等の規則の改正等であります。

また日弁連の臨時総会は、私が副会長として担当する法曹養成問題です。招集請求者側の議案と日弁連執行部提案の2つの議案が審議されますが、日弁連の方針の統一を目指し圧倒的多数で執行部案を可決して次年度に引き継ぎたいと考えています。是非とも会員の皆様方のご協力をお願いする次第です。

伊藤会長が見た 6人の副会長

今年度、年度初めに決めた会の執行方針を実現するために力をあわせて頑張ってくれました。ありがとうございました。

森 副会長：筆頭副会長として、全体の目配り、対外対応に尽力。刑事事件関係も。
佐藤副会長：司試委員との兼務をこなし、理事者会の良心、バランス感覚の人。
渡辺副会長：国際、法律相談、職務適正化、常議員会など、重要案件に獅子奮迅の活躍。
大森副会長：憲法、平和、人権、弁護士の見識と矜持、何よりも明るいきん引力。
中嶋副会長：財務の視点から全体のお目付の機能を果たしつつ、会費問題等で改革も実行。
湊 副会長：若さで、広報、弁護士業務の領域拡大など積極的に推進。アプリも実現へ。

1年間ありがとうございました。

副会長 森 徹 (41期)



あっという間の1年でした。やりたいと思ったことの半分もできず、日々起こる問題に忙殺されて過ぎてしまったように思います。

昨年4月に就任後、7月の夏期合研までは、とにかく馴れていくことに精一杯でした。その後も安保法案への反対運動や秋の臨時総会と落ち着かない状態でした。筆頭副会長を仰せつかりながら、その任に耐えず、他の副会長にご迷惑をおかけしたことに忸怩たる思いがあります。

また、当会は、正職員、嘱託職員、パート職員、派遣職員で総勢100名を超えます。全員懸命に働いているものの、弁護士会が取り組むべき新たな課題の多さや活動領域の拡大のため、マンパワーの不足にいつも悩ま

される状況です。特に、正職員は規則上、70名の上限があり、委員会担当は正職員が担当するため、日弁連から要請される課題や三会で発案される新たな課題にいかに対応するかに腐心した1年であったように思います。

弁護士会は、毎年理事者が変わるため、長期的なスパンに立った組織編成や人事構想を立案することは難しいように思いますが、継続性をもって会運営をするには、職員が積み重ねてきた経験と知識は重要な財産です。これをどう活かしていくか、私の拙い1年間の経験と反省を次年度に引き継ぎ、さらに、日本最大の単位弁護士会としてすばらしい弁護士会を創っていただきたいと思います。

1年間、我々を支えていただいた会員の皆様、献身的に職務に励んでくれた職員、会長、副会長、監事のみなさんに心から感謝申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

となりの副会長が見た 森 副会長

■ 私と森副会長は、仕切もなく隣り合って執務をしています。私の机には資料が散乱し、一方、森副会長の席は整理整頓され快適な執務状況と、それぞれの性格が如実に現れています。森副会長は日弁連の事務次長も経験され、会務に精通されており、筆頭副会長として堅実な会務運営を支えておられます。ただ、時として慎重過ぎる嫌いもあり、我が儘放題の次席からすると、歯がゆく感じられることもあります。最近はそのなりにバランスがとれてきて、就任前にどなたかに言われた、次席は筆頭のかみさん役だということが実感されます。では、もうすぐ離婚？ まずは円満解消して、その後も仲良く色々と活動できればと思います。(佐藤 貴則)

一年を振り返って

副会長 佐藤 貴則 (42期)



月並みですが、怒濤のように過ぎた一年でした。就任当初は、前年度からの引き継ぎ事項をこなすことがやっとで、その後も日々の執務に追われて明確な目標も立てられず、気がつくつとすでに任期終了が間近に迫っています。しかし、振り返ってみると、会長、副会長の全員で、様々な課題をとりあえずは乗り切ってきたのかと思います。自分としては、年度当初から懸案となっていた東京ドーム企画は何とか開催できて好評を頂きましたし、日弁連常務理事

として月に2日の理事会をこなし、伝える企画への協力や、LACセンターの立上げ、つながる企画の実施等々、様々な問題もそれなりにクリアできてきたかと思います。

私は友人によく、「忙しいときと、暇なとき、どちらが早く時間が過ぎる？」と聞きます。たいがい、忙しいときの方が時間が早く過ぎるという答えが返ってきますが、本当に忙しいと、私はむしろ時間はゆっくり過ぎると思っています。「これだけのことをやったのに、まだこれだけしか時間が経ってなかった。」という感覚です。久しぶりにこの感覚も感じる事ができる一年でした。ありがとうございました。

となりの副会長が見た 佐藤 副会長

■ もう15年以上も前になるだろうか？「彼がサトウタカノリか！」と驚いたのは。その後、年下でありながら「タカノリ」と呼ぶ私を鬱陶しい目をする事もなく、温かくつきあってくれた。会派の執行部で、顔を合わせることも幾度度。ドラえもんポケットのごとく、あらゆる難題に対し、難なく応えてくれ、私はのび太のようにお願いをするばかりであった。そんなタカノリ氏と席を隣にしても、この1年、特に、これまでと異なる感慨もない。ごく当たり前の日々であったが、お互い忙しく、二人とも席に座っていることは稀であった。偶に、二人とも在席している時は、私の悩みや愚痴を聴いてくれた。今に始まったことではないが、改めて感謝したい。そして、これからよろしく！（森 徹）

次悪が精一杯の一年でした！

副会長 渡辺 彰敏 (44 期)



会員の皆様や職員の方々、さらには他会の方々にも多大なるご支援をいただき、何とか曲がりなりにも一年間、副会長の職責を全うさせていただけそうです。皆様には心から御礼申し上げる次第です。

振り返ってみると、副会長というのは実に悩み多き立場ではありました。最大の悩みは、最善の方策どころか次善の方策をとることさえ困難な場合が多いということでした。

会内論議を尽くし、少数意見にも耳を傾け、手続的にも諸事万端遺漏無きを期するのが理想ですが、会務執行者の立場になってみると甘くはありませんでした。日々流動する現場の情勢に追われ、最善を求めて少なくとも次善は確保するとの理想は果たせず、とりあえず最悪を避けて次悪を選択するという苦汁の日々ではありました。

それ故、本年度において施行した制度や諸規定のいくつかは、私の力量不足の故もあり、いずれも次年度以降改善されるべきものでしかありません。次年度理事者の皆様、よろしくお願いします。

となりの副会長が見た 渡辺 副会長

■ 渡辺副会長は、常議員会・入退会・マイナンバー含むOA関連・不祥事対応等業務適正化・労使問題・法律相談センターその他、重要な会務を多岐にわたりご担当されたことに加え、英仏2ヶ国語にご堪能（かっこいい！）で国際会議ご出席も多く、実に変な毎日でいらしたと思います。ほんとうにお疲れ様でした。当初会務に不案内だった私に弁護士会のしきたりをいろいろと隣席から教えてくださる親切で頼もしい兄貴格でもありました。4月以降多趣味を活かされ存分にリフレッシュされてください。

(大森 夏織)

ご支援に心より御礼申し上げます

副会長 大森 夏織 (44 期)



思いもよらぬ「立憲主義・恒久平和主義の危機」に直面した今年度。憲法・人権関連担当副会長として、憲法擁護の国民的運動に東弁の果たした役割は大きく、市民からたくさんの信頼を寄せられたことを誇りに思います。

歴代「全」会長による安保法反対の共同声明、戦後70年会長談話、東京三会「安保反対 女性弁護士101人大集合！」企画への当会だけで100人を超える女性会員の参加、戦後70年一大イベントの写真展・

資料展・親子企画・コンサート・シンポ全ての大成功、日弁連「安保反対 オール法曹&学者」への当会会員の大結集、有楽町街宣や国会前行動への当会職をたてての連日参加、数々の当会主催憲法関連企画の大盛況、約2万5000筆に達した署名、会派主催憲法企画「後援」の実現、3月22日クレオでの東京三会シンポ（これは実施前なので大成功「予定」！）…。

このように東弁の実力が思う存分発揮されたのは、ひとえに会員の皆様、職員の方々、会長以下役員の方々が、常にあたたくご支援ご協力ご参加くださったおかげです。心より御礼申し上げます。

となりの副会長が見た 大森 副会長

■ 大森副会長は、ご無礼を顧みず一言で申し上げれば、紛れもない「女傑」でいらっしゃる。その判断力・実行力はもちろん、知力・体力・食欲から豪快な笑いつぶりに至るまで、まさしく「女傑」以外の何者でもありません。

おそらく数年後には、当会の先輩でいらっしゃるF先生のような「大女傑」になられることと思います。一年間、隣席で実に多くのことを学ばせていただき、誠にありがとうございました。

(渡辺 彰敏)

私の一年

副会長 中嶋 公雄 (45 期)



昨年4月に副会長に就任して以来、主に、財務、会館、23条照会などに取り組んでまいりました。

財務については、一般会費の500円の減額、会館臨時会費の50万円から40万円への減額、及び修習終了後に入会する新入会員の会費納入開始時期を翌年6月からとして最大半年遅らせることなどについて、一年間かけて議論いただき、3月の臨時総会に上程させていただく予定であります。

会館については、20年目の会館改修について、その

内容がほぼ固まってきており、設計会社の選定に向けて、最終的な調整を行っております。また、会館5階の奥の部分に食品の自動販売機を、地下1階に写真撮影の機械を設置いたしましたので、是非ご利用いただきますようお願いいたします。

23条照会については、三井住友銀行と協定を締結し、手数料3000円(税別)の支払により、本店へ照会することによって全支店の口座情報の開示が得られる運用が、夏ごろには開始される見込みです。会員の皆様に大きな利便性があるものと考えております。

一年間、まことにありがとうございました。

となりの副会長が見た 中嶋 副会長

■ お隣で拝見していて、中嶋副会長は、一瞬にして大局を正確に見定めて、問題点を見つけ出すや、直ちに緻密な分析をして、様々な細やかな配慮をしつつ解決まで導かれる方だと思っておりました。財務担当副会長として、当会に生ずる様々な複雑難解な問題を極めて解りやすく論理的に説明下さるお姿は圧巻でした。事務局からもとても厚く信頼されておりましたし、私もいつしか自分の担当分野で少しでも問題があると、すぐに中嶋副会長にご相談するようになったのですが、いつも嫌な顔せずすぐに手を休めて下さって、的確なアドバイスを下さいました。日本酒がお好きで、カラオケでは歌手顔負けの歌唱力を披露されるという一面もあり、とても幅の広い方です。一年間、本当にお世話になりました。ありがとうございました。(湊 信明)

一年間、支えて下さり感謝申し上げます

副会長 湊 信明 (50 期)



若手弁護士のパワーを強く感ずる一年でした。弁護士活動領域拡大推進本部では、会員向けと市民向けのスマホ用アプリ開発に着手した他、東京ドームイースタンリーグ戦に協賛企業として参加して広報活動を展開、空き家問題

について自治体と契約を締結して解決に協力、自治体に足を運んで、弁護士トライアル制度その他当会サービスのご案内等を行いました。若手会員総合支援センターでは、上野松坂屋正面入り口で、中堅と若手とがペアになってOJT法律相談を展開、中小企業法律支援センタ

ーでは、金融機関や自治体との協力関係を進めて中小企業が法的支援を容易に受けられるような様々な活動を行いました。

若手弁護士の増加に伴い、新たなニーズや取り組みがますます増えていくと思います。こうした動きを会務の中にどう反映していくかがこれから更に重要になってくると感じました。

私が担当させていただいた業務はこれら以外にも数多くあり、ご紹介できないのが残念です。しかし、そのすべてにおいて、事務局の的確で温かなサポートがありました。心から感謝しております。事務局の皆様、一年間支えて下さって本当にありがとうございました。

となりの副会長が見た 湊 副会長

■ 湊副会長と私は、いずれも勤務弁護士だった時代の事務所が同じビルの上下だったことから旧知の間柄であり、一緒に副会長になった当初から、大変心強く思っていました。東弁初の50期代の副会長として、その行動は非常にエネルギーで、宴会の中締めの際に万歳三唱をされる姿を、多くの会員がご覧になったことと思います。担当された広報では、法被(ハッピー)を製作したり、アプリの開発に取り組むなど、東弁に新しい風を吹き込むことに多大な貢献をされました。今後とも、末永くお付き合いさせていただきますよう、お願いいたします。(中嶋 公雄)